

暑い!! 熱い!!

校 長 武井 正明

蒸し風呂のようなビッグスワンが、私を待っていた。

各種大会で標準記録を突破したものだけが出場できる、栄誉ある「第 71 回全日本中学校通信陸上競技大会新潟県大会」今年も吉中から 15 人の精鋭たちがエントリーされた。

午前 11 時 20 分男子共通 400m 予選。第 3 組、第 4 組と続けて吉中選手の登場だ。特に 4 組は 2 度の渡りフライングがあり集中力を削がれた。しかしその中で 50 秒を切る全国レベルのタイムを弾き出す選手がいるのだから、本大会のレベルがわかるというものだ。

大矢先生に訊くと、このビッグスワンは風が微妙に舞う感じがあり選手は走りやすく、タイムもかなり縮まる時があるとのこと。皮切りに走った部長の彼は、何とベストを 1 秒以上も縮めた。この大事な局面で自己ベストを 1 秒以上も更新とは。たいしたものだ。

2 年女子 100m。最前列を陣取った女子応援団の、声を振り絞っての熱い声援を受けて、彼女は走り切った。ゴールを駆け抜けるとスタンドの彼女たちに笑顔で応えた。まだまだ伸びていく予感。今回の経験は大きい。

午後の 2 年生男子 100m の三人衆も良い走りだった。スタート直前の両肩の筋肉の盛り上がり、日頃鍛錬しているのが見て取れる。「セット」一瞬の静寂の後、まるでロケットのように彼らは飛び出していった。今日の大舞台が、まだまだ用意されている闘いの場に繋がってくるだろうと、楽しみが膨らむ。

少し風が吹いてきた 2 年男子 100m 決勝に臨んだ彼は、自らの胸を拳で叩き落ち着かせると、大きなストライドで疾走し、身体ごとゴールに吸い込まれていった。

2 年男子 1500m 決勝。序盤からリードした彼は 3 周目でリードを許す。するともう私はカメラを構えることを忘れて、スタンド最前列へ。最後のストレート、彼の名前を声を限りに叫んでいた。彼に届いたかなあ…。きっと届いたに違いない。彼は私の声を背に、一番でゴールに飛び込んでいった。

選手たちの、真剣な眼、躍動する身体、場内アナウンスも会場を盛り上げ、360 度総ての角度から、観客のどよめきや大歓声が聞こえてくる。

陸上って、やっぱり素晴らしい!! また今日も感動させていただいた。

明日も県内いろんな会場で、県大会はじめ様々な大会が開催される。吉中生達が輝いてくれることを願っている。みんな頑張れ一っ!!